

GUNMA 2029

湯けむり国スポ・全スポ 113-13 JAPAN NATIONAL
28th National Sports Festival
for People with a Disability

全スポ・オープン競技(実施案)などが決定！

「第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会第12回常任委員会」を书面開催し、全スポ・オープン競技の群馬県としての実施案や国スポ・デモンストレーションスポーツ実施競技の追加等について審議・決定しました。

1 全スポ・オープン競技の選定

「車椅子ソフトボール」「スポーツウェルネス吹矢」「車いすダンス」

※今後、文部科学省や(公財)日本パラスポーツ協会との協議を経て正式決定となります。

※オープン競技の詳細は別添資料をご覧ください。

2 国スポ・デモンストレーションスポーツ実施競技の追加

「ローンボウルズ」(前橋市)

※芝生の上で、合成樹脂の偏心球を転がしジャック(目標球)に近づけることを競う。

3 その他

・全スポ・選手団サポートボランティア養成基本方針

選手団の介助や誘導等のサポートをするボランティアの養成方針を定める。

・文化プログラム実施基本方針

文化芸術活動を通じ両大会の開催機運を高める文化プログラムの実施方針を定める。

・警備・消防防災基本計画

両大会における自主警備、消防防災及び大規模災害対策業務の基本的な考え方を定める。

※審議・報告事項の詳細は、群馬県準備委員会ホームページを御確認ください。

(URL : <https://sports2029.pref.gunma.jp/committee/news/detail/?id=uuOutq3fyw>)

第28回全国障害者スポーツ大会 オープン競技

実施競技の選定について

1 オープン競技の概要

障害者スポーツの一層の普及・振興を図る観点から、第28回全国障害者スポーツ大会において、全国障害者スポーツ大会競技規則（（公財）日本パラスポーツ協会制定）に定める個人競技及び団体競技以外の競技をオープン競技として実施する。

2 経緯・選定のポイント

- ・令和7年7月4日から8月29日までの間、第28回全国障害者スポーツ大会におけるオープン競技を募集したところ、3団体から応募があった。
- ・当該3競技について、第28回全国障害者スポーツ大会オープン競技実施基本方針における選定基準に基づき審査したところ、3競技とも基準を満たしている。
- ・いずれも健常者も参加可能であるインクルーシブな競技。群馬県は「スポーツを通じた共生社会の実現」を目指しており、オープン競技実施をその目標達成につなげたい。

3 オープン競技

No	実施競技	障害区分	主催団体	開催予定施設	会場地
1	車椅子ソフトボール	身体	一般社団法人日本車椅子ソフトボール協会	Gメッセ群馬	高崎市
2	スポーツウエルネス吹矢	身体的 知的 精神	群馬県スポーツウエルネス吹矢協会	群馬県立ふれあいスポーツプラザ	伊勢崎市
3	車いすダンス	身体	全日本車いすダンスネットワーク	群馬県立ふれあいスポーツプラザ	伊勢崎市

※ 各競技の概要については別添参照

4 今後のスケジュール（予定）

- R8. 4 中央主催者（文部科学省、（公財）日本パラスポーツ協会）と協議
⇒ 中央主催者からの回答をもって正式決定

車椅子ソフトボール



【競技概要】

基本的なルールはソフトボールと同様。
競技用車椅子に乗り、10人制でプレーする。
選手の障害に応じてクラス分けがされ、ゲームに参加している選手の合計持ち点が21点を超えてはならない。

【大会開催実績】

東日本大会（群馬）：4チーム

西日本大会（大阪）：8チーム

全日本大会（大阪）：8チーム

【県内競技人口】

3人

スポーツウエルネス吹矢



【競技概要】

障がいの種別・程度により競技クラスを分け、6m、8m、10m離れた的に矢を吹く。1ラウンド5本の矢を吹き、1人4ラウンドの合計点数を競う。

【大会開催実績】

群馬県スポーツウエルネス吹矢大会（R7.5.24）：280名

群馬県スポーツウエルネス吹矢選手権大会

（R7.7.26）：83名

【県内競技人口】

40人

車いすダンス



【競技概要】

車椅子競技者（ドライバー）は障害の程度に応じてクラス1、クラス2に分類され、競技カテゴリーごとに複数のペアが同じフロアで踊り、審判の採点により順位が決まる。

【大会開催実績】

ジャパンカップ 2022：55組

ジャパンカップ 2023：44組

ジャパンカップ 2024：25組+5チーム

【県内競技人口】

16人（うち障害者6人）